

26. 「もったいない運動」について

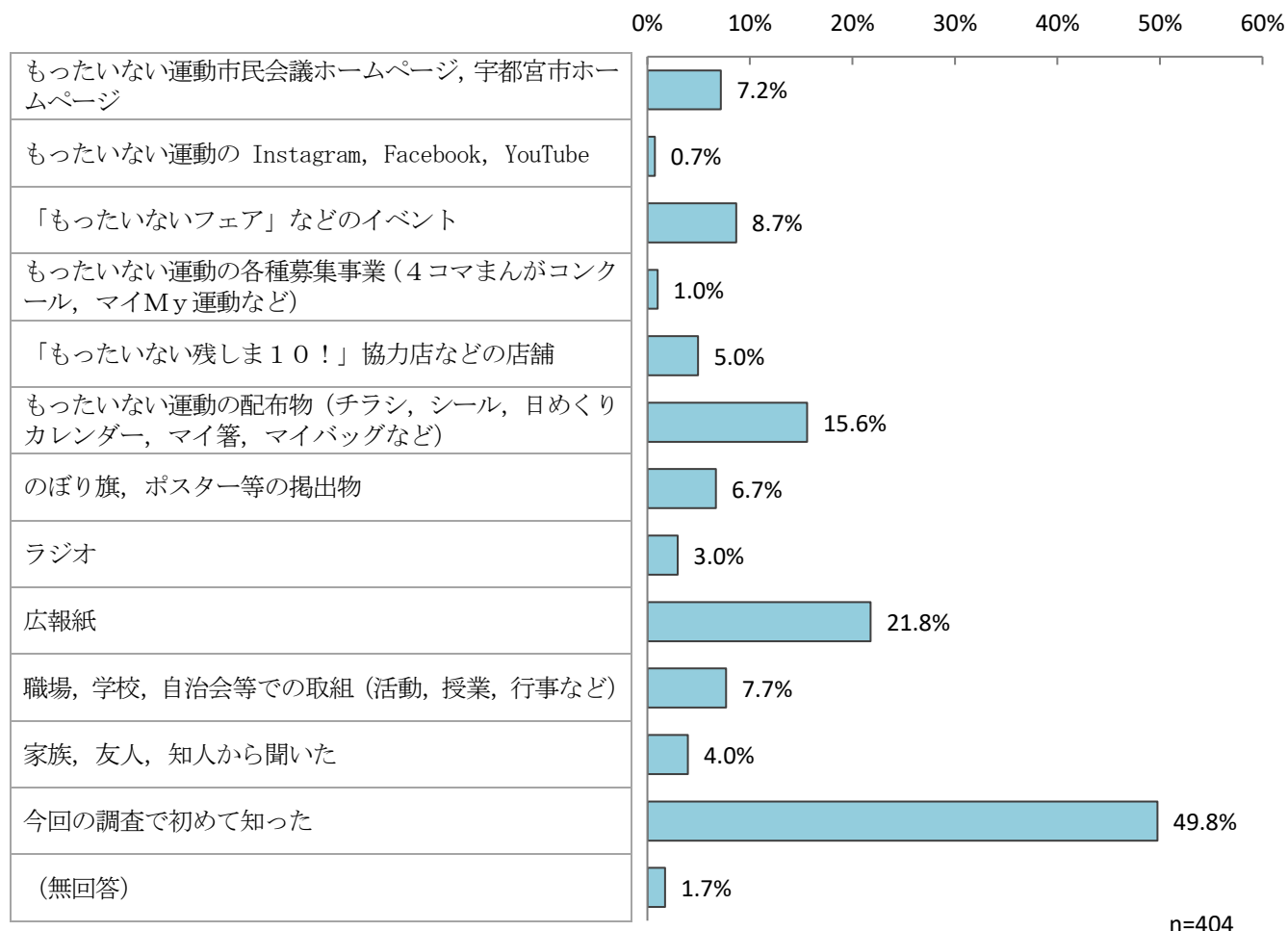
(1) 「もったいない運動」を知った経緯

◇ 「今回の調査で初めて知った」が約5割

問87 「ひと」「もの」「まち」を大切にする本市独自の「もったいない運動」について、どのようにして知りましたか。 (〇はいくつでも)

	n=404
1 もったいない運動市民会議ホームページ, 宇都宮市ホームページ	7.2%
2 もったいない運動の Instagram, Facebook, YouTube	0.7%
3 「もったいないフェア」などのイベント	8.7%
4 もったいない運動の各種募集事業(4コマまんがコンクール, マイMy運動など)	1.0%
5 「もったいない残しま10!」協力店などの店舗	5.0%
6 もったいない運動の配布物(チラシ, シール, 日めくりカレンダー, マイ箸, マイバッグなど)	15.6%
7 のぼり旗, ポスター等の掲出物	6.7%
8 ラジオ	3.0%
9 広報紙	21.8%
10 職場, 学校, 自治会等での取組(活動, 授業, 行事など)	7.7%
11 家族, 友人, 知人から聞いた	4.0%
12 今回の調査で初めて知った	49.8%
(無回答)	1.7%

<図IV-26-1>全体



「もったいない運動」について、どのようにして知ったかについては、「今回の調査で初めて知った」が49.8%で最も高く、次いで「広報紙」が21.8%、「もったいない運動の配布物（チラシ、シール、日めくりカレンダー、マイ箸、マイバッグなど）」が15.6%と続いている。（図IV-26-1）

<参考>

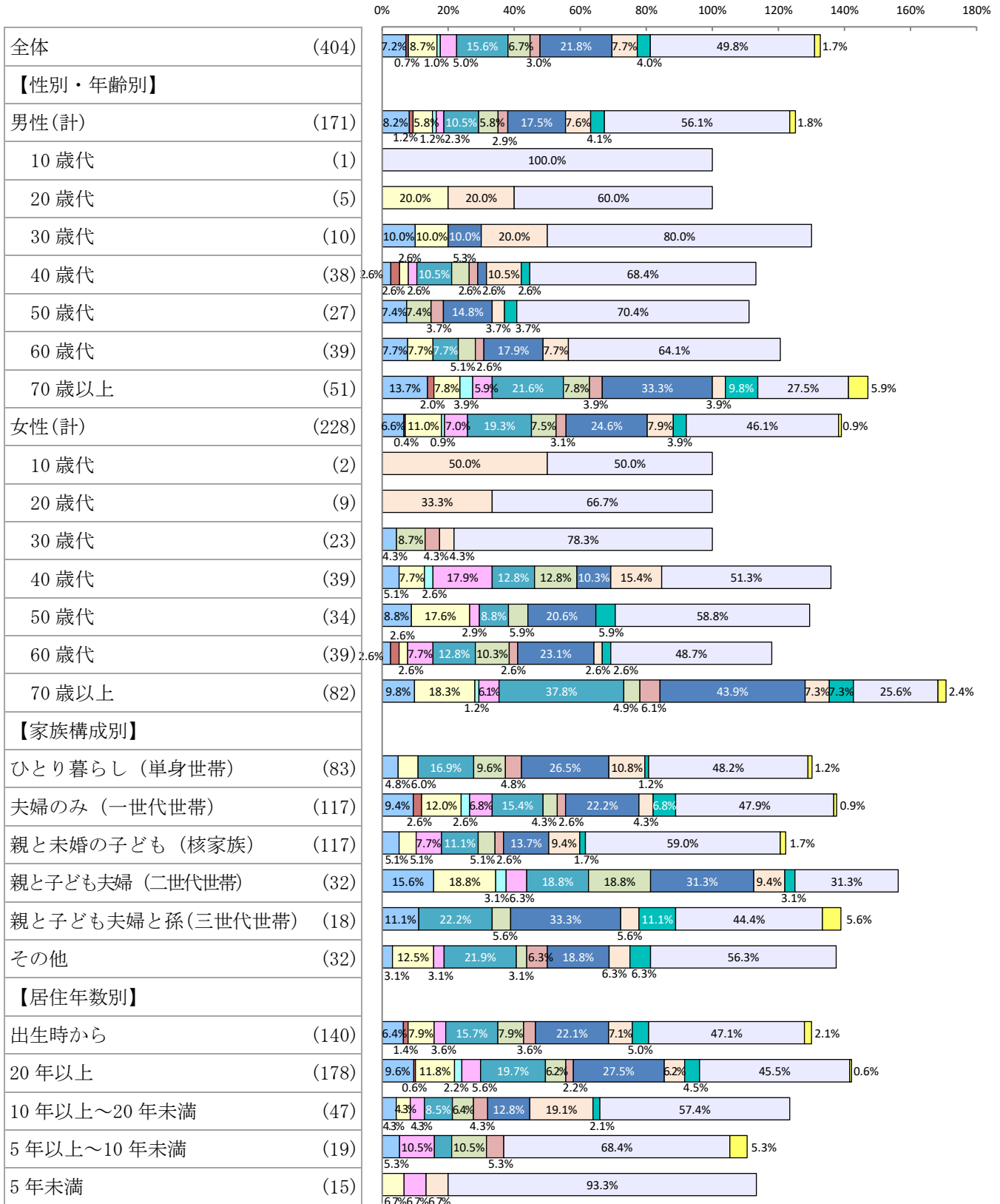
性別・年齢別でみると、「今回の調査で初めて知った」は<男性/30歳代>が80.0%、<女性/30歳代>が78.3%、「広報紙」は<女性/70歳以上>が43.9%、<男性/70歳以上>が33.3%であった。（図IV-26-2）

家族構成別でみると、「今回の調査で初めて知った」は、<その他>を除くと<親と未婚の子ども（核家族）>が59.0%で最も高く、次いで<ひとり暮らし（単身世帯）>が48.2%であった。「広報紙」は<親と子ども夫婦と孫（三世代世帯）>が33.3%で最も高く、次いで、<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が31.3%であった。（図IV-26-2）

居住年数別でみると、「今回の調査で初めて知った」は<5年未満>が93.3%で最も高く、次いで<5年以上～10年未満>が68.4%であった。「広報紙」は<20年以上>が27.5%で最も高く、次いで<出生時から>が22.1%であった。（図IV-26-2）

<図IV-26-2>性別・年齢別／家族構成別／居住年数別

- もったいない運動市民会議ホームページ、宇都宮市ホームページ
- もったいない運動の Instagram, Facebook, YouTube
- 「もったいないフェア」などのイベント
- もったいない運動の各種募集事業(4コマまんがコンクール、マイMy運動など)
- 「もったいない残しま10!」協力店などの店舗
- もったいない運動の配布物(チラシ、シール、日めくりカレンダー、マイ箸、マイバッグなど)
- のぼり旗、ポスター等の掲出物
- ラジオ
- 広報紙
- 職場、学校、自治会等での取組(活動、授業、行事など)
- 家族、友人、知人から聞いた
- 今回の調査で初めて知った
- 無回答

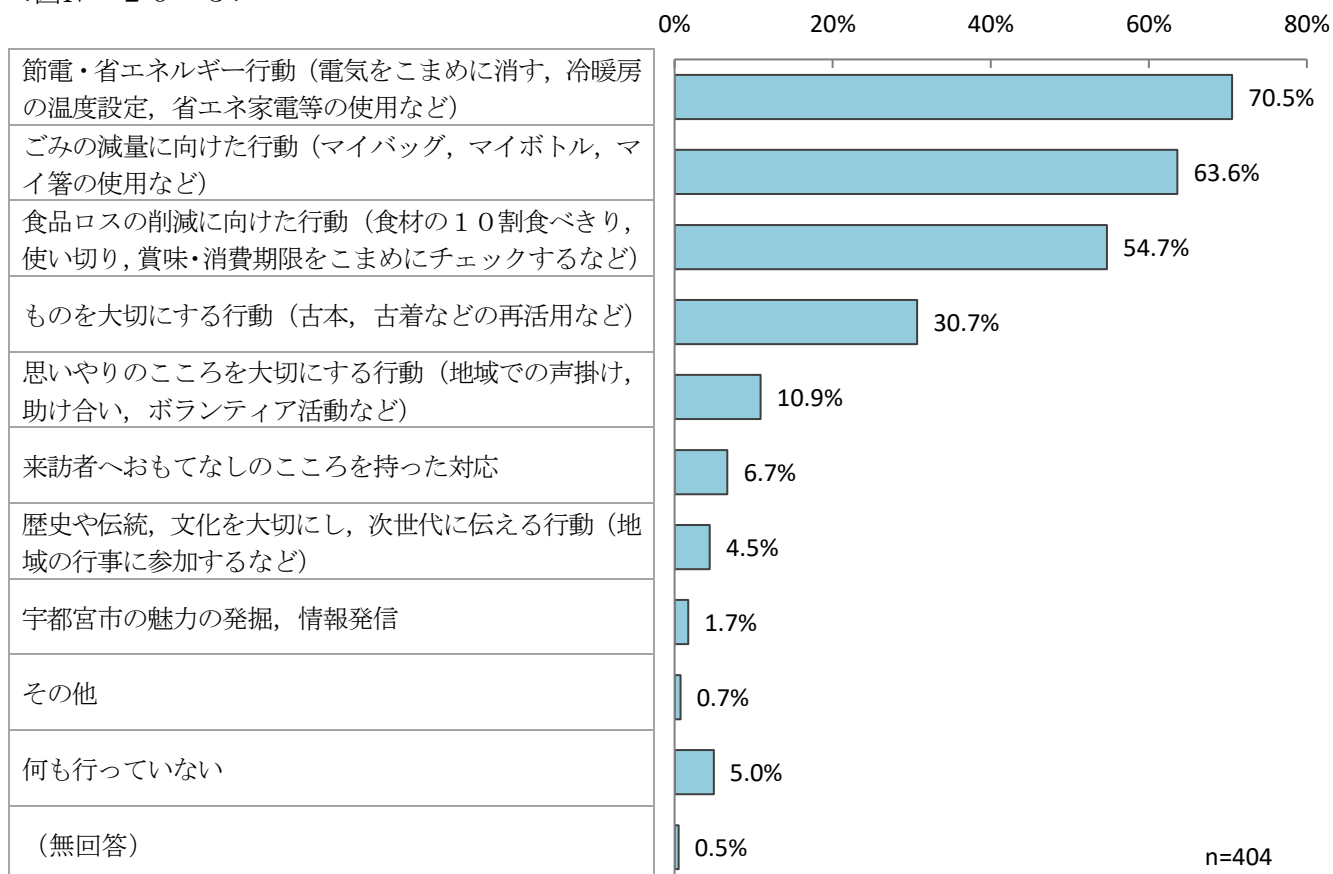


(2) 日常生活の中で取り組んでいる「もったいない運動」

◇ 「節電・省エネルギー行動（電気をこまめに消す，冷暖房の温度設定，省エネ家電等の使用など）」が約7割

問88 あなたが日常生活の中で取り組んでいる「もったいない運動」はどのようなことですか。		
		(〇はいくつでも)
		n=404
1	節電・省エネルギー行動（電気をこまめに消す，冷暖房の温度設定，省エネ家電等の使用など）	70.5%
2	ごみの減量に向けた行動（マイバッグ，マイボトル，マイ箸の使用など）	63.6%
3	食品ロスの削減に向けた行動（食材の10割食べきり，使い切り，賞味・消費期限をこまめにチェックするなど）	54.7%
4	ものを大切にする行動（古本，古着などの再活用など）	30.7%
5	思いやりのところを大切にする行動（地域での声掛け，助け合い，ボランティア活動など）	10.9%
6	来訪者へおもてなしのこころを持った対応	6.7%
7	歴史や伝統，文化を大切にし，次世代に伝える行動（地域の行事に参加するなど）	4.5%
8	宇都宮市の魅力の発掘，情報発信	1.7%
9	その他	0.7%
10	何も行っていない (無回答)	5.0% 0.5%

<図IV-26-3>



日常生活の中で取り組んでいる「もったいない運動」については、「節電・省エネルギー行動（電気をこまめに消す，冷暖房の温度設定，省エネ家電等の使用など）」が70.5%で最も高く，次いで「ごみの減量に向けた行動（マイバッグ，マイボトル，マイ箸の使用など）」が63.6%，「食品ロスの削減に向けた行動（食材の10割食べきり，使い切り，賞味・消費期限をこまめにチェックするなど）」が54.7%と続いている。

（図IV-26-3）

<参考>

性別・年齢別でみると、「節電・省エネルギー行動（電気をこまめに消す，冷暖房の温度設定，省エネ家電等の使用など）」は<女性/70歳以上>が90.2%，<男性/70歳以上>が82.4%であった。「ごみの減量に向けた行動（マイバッグ，マイボトル，マイ箸の使用など）」は<女性/60歳代>が76.9%，<女性/50歳代>が82.4%であった。（図IV-26-4）

家族構成別でみると、「節電・省エネルギー行動（電気をこまめに消す，冷暖房の温度設定，省エネ家電等の使用など）」は<その他>を除くと，<ひとり暮らし（単身世帯）>が77.1%で最も高く，次いで<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が71.9%であった。「ごみの減量に向けた行動（マイバッグ，マイボトル，マイ箸の使用など）」は<親と子ども夫婦（二世帯世帯）>が71.9%で最も高く，次いで<夫婦のみ（一世帯世帯）>が70.1%であった。（図IV-26-4）

居住年数別でみると、「節電・省エネルギー行動（電気をこまめに消す，冷暖房の温度設定，省エネ家電等の使用など）」は<20年以上>が74.7%で最も高く，次いで<出生時から>が69.3%であった。「ごみの減量に向けた行動（マイバッグ，マイボトル，マイ箸の使用など）」は<5年以上～10年未満>が73.7%で最も高く，次いで<10年以上～20年未満>が68.1%であった。（図IV-26-4）

<図IV-26-4>性別・年齢別／家族構成別／居住年数別

